

教科用図書調査研究専門員会報告書

教科	社会
----	----

種目	社会
----	----

発行者略称	東書
-------	----

教科書名	新編 新しい社会
------	----------

所 見
<p>1 学習指導要領の教科の目標とのかかわりについて</p> <ul style="list-style-type: none">・学習指導要領の目標・内容・内容の取り扱いを踏まえ、各学年とも基礎的・基本的事項を取り上げて児童の理解を深めるとともに、具体的な社会的事象に取材して教材化し、社会生活について共感的に理解し、公民的資質の基礎を養っていけるように配慮されている。・防災、安全、伝統や文化、人権・福祉、環境、エネルギー等、全学年で今日的な教育課題にかかわる内容を取り入れ、地域や国土に対する愛情を育て、共生する意識を醸成するよう配慮されている。 <p>2 内容について</p> <p>〈基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none">・学習上重要なキーワードを「ことば」として数多く示し、学習内容の確実な習得ができるようにしている。また、その語句の「さくいん」を巻末に設け、学習の整理やふりかえりに役立てられるようになっている。・「まなび方コーナー」により、グラフの読み取りやインタビューのしかたなどの学習技能を系統的に習得できるように配慮されている。 <p>〈思考力、判断力、表現力等を育成する工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none">・すべての小単元に「まとめる」を設定し、まとめ方について具体例を示すことで、習得した知識を定着させ、それらをもとに思考力・判断力・表現力を育てることができるようにしている。・「学習の進め方」や「まなび方コーナー」に言語活動の例が示されていて、それらをとおして思考力・判断力・表現力が深められるようにしている。 <p>〈主体的に学習に取り組む態度を養う工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none">・単元のめあて、小単元の学習問題、本時のめあてを明示することで、問題意識をもって学習を進めることができるように配慮されている。また、側注の本時のめあてには、学習過程「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」が示されていて、問題解決的な学習の展開がしやすいようになっている。・「ひろげる」を設け、児童の関心の深まり、広がりに応じた学習や家庭学習ができるように配慮されている。 <p>〈我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none">・「まとめる」「いかす」で学習したことを振り返り、地域社会に対する誇りや愛情、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるように配慮されている。 <p>〈公民的資質の基礎を育成するための工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none">・仕事や活動で社会に参画する人の思いや願いを「〇〇さんの話」として示すことで、よりよい社会の形成のために自ら参画、貢献しようとする能力や資質の基礎を学べるようになっている。・「いかす」場面を設け、社会のできごとを自分のこととしてとらえ、よりよい社会のあり方を考えたり、社会参画の方法を考えたりできるようにしている。 <p>3 資料について</p> <ul style="list-style-type: none">・各学年で選択して取り扱うことのできる内容を明示し、地域の実態に応じて単元構成できるように配慮されている。教材もバランスよく各都道府県を掲載している。また、埼玉県的事象も多く取り入れている。・主な地域教材には位置を示す地図を提示し、写真には都道府県名や市町村名を記している。・資料には、見開きページごとに通し番号をつけ、指示等がしやすいようになっている。 <p>4 表記・表現について</p> <ul style="list-style-type: none">・教科書体とゴシック体、丸ゴシック体の文字をバランスよく使い分けている。・親しみやすいキャラクターとドラえもん吹き出しで、まなび方のアドバイスをし親しみやすくなっている。 <p>5 全体的な特徴、その他</p> <ul style="list-style-type: none">・「学習の進め方」で問題解決的な学習過程を構造的に示し、各ページでは学習過程での位置づけを明確にして、児童の主体的な学習を促しながら、思考力・判断力・表現力の育成が図れるようにしている。・「ことば」での重要語句の解説や小単元の「まとめ」により、基礎的・基本的な内容の定着が確実に図れるようになっている。

教科用図書調査研究専門員会報告書

教科	社会
----	----

種目	社会
----	----

発行者略称	教出
-------	----

教科書名	小学社会
------	------

所 見
<p>1 学習指導要領の教科の目標とのかかわりについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領の目標・内容・内容の取り扱いに従い、地域社会の具体的な事象や事柄を取り上げるとともに、発達段階に応じた教材、資料が掲載され、地域社会への理解を深め、公民的資質の基礎を養えるように配慮されている。 ・伝統文化やその継承に努める人々の事例により、日本の伝統や文化に対する理解を深め、愛情や誇りを育てることができるよう配慮されている。また、今日的な課題についても適切に取り上げ地域や国土への愛情を育てたり、共生する意識を醸成したりできるよう配慮されている。 <p>2 内容について</p> <p>〈基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重要語句が「キーワード」で示されているとともに、まとめる場面では、「キーワードに注目して学習をふり返ろう」が設定されていて、基礎・基本の習得のために配慮がなされている。 ・「学習のてびき」「わくわく！社会科ガイド」に調べ方や資料活用のしかた、表現方法等が示され、学年の実態に合わせて学習の技能を身に付けることができるように配慮されている。 ・小単元の終わりに「まとめる」場面を設定し、問題形式により児童自身がこれまでの学習内容を整理できるようになっている。 <p>〈思考力、判断力、表現力等を育成する工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「深める」場面では、多様な事象や表現方法が設定されていて、思考力・判断力・表現力を育成できるようにしている。 ・「学び方のてびき」で資料やグラフの読み取り方等を具体的に示し、多面的な見方ができるようにしている。 <p>〈主体的に学習に取り組む態度を養う工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大単元では、「オリエンテーション」で導入を図り、小単元の学習をとおして学び、最後に「深める」で考え合い表現し合うという流れで、主体的な学習を促している。 ・「つかむ」「調べる」「まとめる」で小単元を構成し、児童が主体的に学べる構成となっている。 <p>〈我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「もっと知りたい」において、発展的な学習内容を紹介し、我が国の国土や歴史に対する見方を広げるようにしている。 <p>〈公民的資質の基礎を育成するための工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大単元の末に「深める」を設け、地域や社会、自分たちの暮らしについて学習を生かして話し合い表現することで、社会参画に向けた意識や態度が育てられるように配慮されている。 ・社会を支えている人々の姿を「〇〇さんの話」として示したり、社会への参加や協力について多くの資料が掲載されていたりして、共感的な理解を促し社会への参画意識を高めるよう配慮されている。 <p>3 資料について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学年に選択して取り扱うことのできる内容を「せんとく」として設け、地域の実態に即して単元が構成できるようになっている。 ・3、4年ではノート事例や作品例、5年では働く人たちや関係者の話、6年では絵図や読み物資料が多く掲載され、学年の実態に合わせた資料が配慮されている。 ・単元の導入では、インパクトのある写真により、児童の興味関心をもたせるようにしている。 <p>4 表記・表現について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3、4年では、子どものキャラクターが会話形式で学習を進め、5、6年では学習問題を解決するためのヒントや活動のポイントを示していて、児童の学習の助けとなっている。 ・資料には見開きで記号をつけ、指示等がしやすいようになっている。 <p>5 全体的な特徴、その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大単元、小単元、時間の学習を通して「問い」を明示し、問題解決を軸とした学習展開がしやすいように構成されている。 ・「まとめる」での学習内容の確認など、学んだことをしっかりと習得、定着させることに重点がおかれ、基礎基本の確実な定着に配慮されている。

教科用図書調査研究専門員会報告書

教科	社会
----	----

種目	社会
----	----

発行者略称	光村
-------	----

教科書名	社会
------	----

所	見
	<p>1 学習指導要領の教科の目標とのかかわりについて</p> <ul style="list-style-type: none">・学習指導要領の目標・内容・内容の取り扱いに従い、地域社会の具体的な事象や事柄を取り上げるとともに、児童が主体的に取り組めるような構成により、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度、自主自立の精神、個人の価値の尊重が図れるように配慮されている。・今日的な課題や文化財及び保護継承にかかわる人々の事例等を取り上げることとおして、地域や国土に対する愛情を深め、世界の人々との共生について自覚できるように配慮されている。 <p>2 内容について</p> <p>〈基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none">・重要語句を「ことば」で示し、基礎的な理解を助ける構成となっている。また、巻末に「さくいん」をのせ、活用しやすいように工夫している。・「たいせつ」のコーナーが設けられ、様々な場面で活用できる学習のヒントが示され、基礎的・基本的な知識、技能の習得に配慮されている。また、全学年までに学習した「たいせつ」が巻末に一覧として示してあり学年間のつながりも考慮されている。 <p>〈思考力、判断力、表現力等を育成する工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none">・「たいせつ」のコーナーでは、資料の読み取りや学習方法のヒントが示され、思考力、判断力、表現力を育てるための配慮がされている。・中心となる資料を大きく掲載し、児童の興味関心を高めながら話し合いを中心にした言語活動を促すように配慮されている。 <p>〈主体的に学習に取り組む態度を養う工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none">・「見つける」「調べる・話し合う」「まとめる・広げる」の学習過程で構成され、児童が主体的に学べる構成となっている。・小単元の導入のホップ「みつける」では、大きな写真や資料と学習内容を示す会話文により学習への関心を高め、見通しをもたせ、「クラスの学習問題」として追究していけるように配慮されている。また、キャラクターによる吹き出しで次時へとつなげている。・ジャンプ「まとめる・広げる」では、各学年に応じた体験的活動が示され、児童が主体的に取り組めるような配慮がされている。 <p>〈我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none">・人々の暮らしや歴史、文化についての資料を提示し、我が国の国土に対する理解を深められるようにしている。 <p>〈公民的資質の基礎を育成するための工夫〉</p> <ul style="list-style-type: none">・大単元の末に「深める」を設け、地域や社会、自分たちの暮らしについて学習を生かして話し合い表現することで、社会参画に向けた意識や態度を育てられるように配慮されている。・防災教育の視点に立って、防災意識を高める学習内容が多く取り入れられている。 <p>3 資料について</p> <ul style="list-style-type: none">・選択教材を取り入れ、様々な地域で柔軟に対応できるようにしている。・写真や資料を精選し、それらを焦点化しやすいように配置している。シンプルな紙面構成である。 <p>4 表記・表現について</p> <ul style="list-style-type: none">・キャラクターを用い、学習を広げ深めるヒントを示して、比較関連を示唆するように配慮されている。・「クラスの学習問題」を示し、その問題を追究していく学習の手順が明確に示されている。 <p>5 全体的な特徴、その他</p> <ul style="list-style-type: none">・巻頭に「教科書をヒントに、学習を進めよう」が設けられ、学習過程を明確に示して主体的に学習できるようにしている。・5年、6年を1冊とし、内容の関連づけや振り返りができるよう配慮されている。・導入では、インパクトのある大きな写真を掲載し、児童の興味関心を高めるとともに主体的な学習を促している。

教科用図書調査研究専門員会報告書

教科	社会
----	----

種目	社会
----	----

発行者略称	日文
-------	----

教科書名	小学社会
------	------

所 見

1 学習指導要領の教科の目標とのかかわりについて

- ・学習指導要領の目標・内容・内容の取り扱いに従い、地域社会の具体的な事象や事柄を取り上げるとともに、発達段階に応じた教材、資料が掲載され、地域社会への理解を深め、公民的資質の基礎を養えるように配慮されている。
- ・今日的な課題や文化財及び保護・継承に関わる人々の事例を取り上げることとおして、地域、国土に対する愛情を深め、人や社会とよりよくかかわり、主体的に行動できる子どもを育てることができるよう配慮されている。

2 内容について

〈基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫〉

- ・「キーワード」として重要な用語を示すとともにイラストや写真等も掲載し、基礎的・基本的な知識の定着に配慮している。
- ・「学び方・調べ方コーナー」により、グラフの読み取りや地球儀の使い方など基本的な技能が習得できるように配慮されている。
- ・「やってみよう」により、学習や生活の基盤となる知識をくり返すよう示唆し、知識や学習技能の定着に配慮している。

〈思考力、判断力、表現力等を育成する工夫〉

- ・「学び方・調べ方コーナー」として、「見る・調べる」「読み取る」「表現する」を設け思考力、判断力、表現力の育成に配慮をしている。また、「読み取る」は、「確かめる」「見つける」「考える」の三つのステップで示し、思考力の育成を重視している。

〈主体的に学習に取り組む態度を養う工夫〉

- ・大単元は、「導入」「小単元」「ふりかえってみよう」「大きくジャンプ」の構成で、問題解決的な学習を促している。
- ・小単元は、「わたしの問題」「わたしの見方・考え方」「みんなで話し合いたいこと」の構成で、主体的に学習できるように配慮されている。

〈我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を育てるための工夫〉

- ・単元末の「大きくジャンプ」により、単元の発展的な学習をとおして広い視野で考えることができるように配慮され、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情をより深く育てることができるようにしている。

〈公民的資質の基礎を育成するための工夫〉

- ・小単元の末に「ふりかえってみよう」を設定し、これまで学んだことを活用しながら自分の提案としてまとめる中で、社会に参画する態度が育成できるように配慮されている。

3 資料について

- ・選択として、比較、発展などの事例を掲載し、地域の実態を踏まえて学習が進められるように配慮されている。
- ・大単元の導入では、写真と吹き出しにより単元への興味関心をもたせ、「学習のまど」として学習の方向付けをしている。
- ・「地図となかよしになろう」を設け、地図帳の活用技能や地図の見方が確実に習得できるように配慮されている。

4 表記・表現について

- ・特に大事な人物名とキーワードを太字のゴシック体で表記し、重要な事項がわかりやすいように配慮されている。
- ・単元ごとに基本となる色を設定し、単元のまとまりがわかりやすいようになっている。
- ・「考えるヒント」やキャラクターの言葉をとおして、考えるためのヒントが示されている。

5 全体的な特徴、その他

- ・「問いの旅」として、「問い」を追究しながら問題解決的な学習が連続して進められるような構成となっている。
- ・学習課題に迫る際の手がかりとなる統計資料を豊富に掲載することで、自分の考えに根拠をもたせることができるようにしている。